

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6119	(H.24)No.	6119
-----------	------	-----------	------

事務事業名		青少年補導センター事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	文化生涯学習室	杉本 一徳	63-7892
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	3	防犯
	小施策	2	青少年の非行防止
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	508503
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	青少年健全育成事業
項	社会教育費	(小事業名)
目	青少年対策費	青少年補導センター事業

3. 事務事業の概要

事業概要
教育現場経験の豊富な補導員を中心に、関係機関との連携と市民ボランティアの協力により、全市的に青少年の補導活動や安全対策、有害環境浄化活動、相談業務の充実に取り組む。

めざす効果(事業目的)
即効性を求める事業ではないが、青少年の非行や犯罪防止、事件・事故から守るための環境づくり。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を4名の非常勤補導員が交代で平日毎日実施。 費用 報償費228千円 消耗品費105千円 備品購入費172千円 役務費83千円	非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を5名の非常勤補導員が交代で平日毎日実施。 費用(予算) 報償費242千円 消耗品費153千円 相談業務電話料72千円 備品購入費25千円	補助金・交付金	その他 ()	
直接事業費	588千円	492千円	623千円	623千円	623千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 588	492	623	623	623
人工数					
職員	0.45人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
臨時職員等	2.50人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人
概算人件費	(0千円) 7,535千円	5,830千円	5,830千円	5,830千円	5,830千円
+ 総事業費	(0千円) 8,123千円	6,322千円	6,453千円	6,453千円	6,453千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	70
	実績		77	53	22	20	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
駅前、大型小売店、公園等の少年のたまり場となる場所での街頭補導や、不審者に対する安全パトロールを実施。関係機関・団体との連携や情報収集も積極的に行ってきました。	青少年を取り巻く社会環境が著しく変化しています。家庭・学校・地域・行政が一体となって、健全育成事業に取り組む現体制をさらに充実します。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
少子化・高齢化社会の到来や、インターネット等の情報化進展により、人とのつながりが希薄になり、自分以外のものごとへの関心も薄れ、地域の教育力が低下しています。	

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	補導パトロールの時間帯を検討します。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(拡大)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項

--